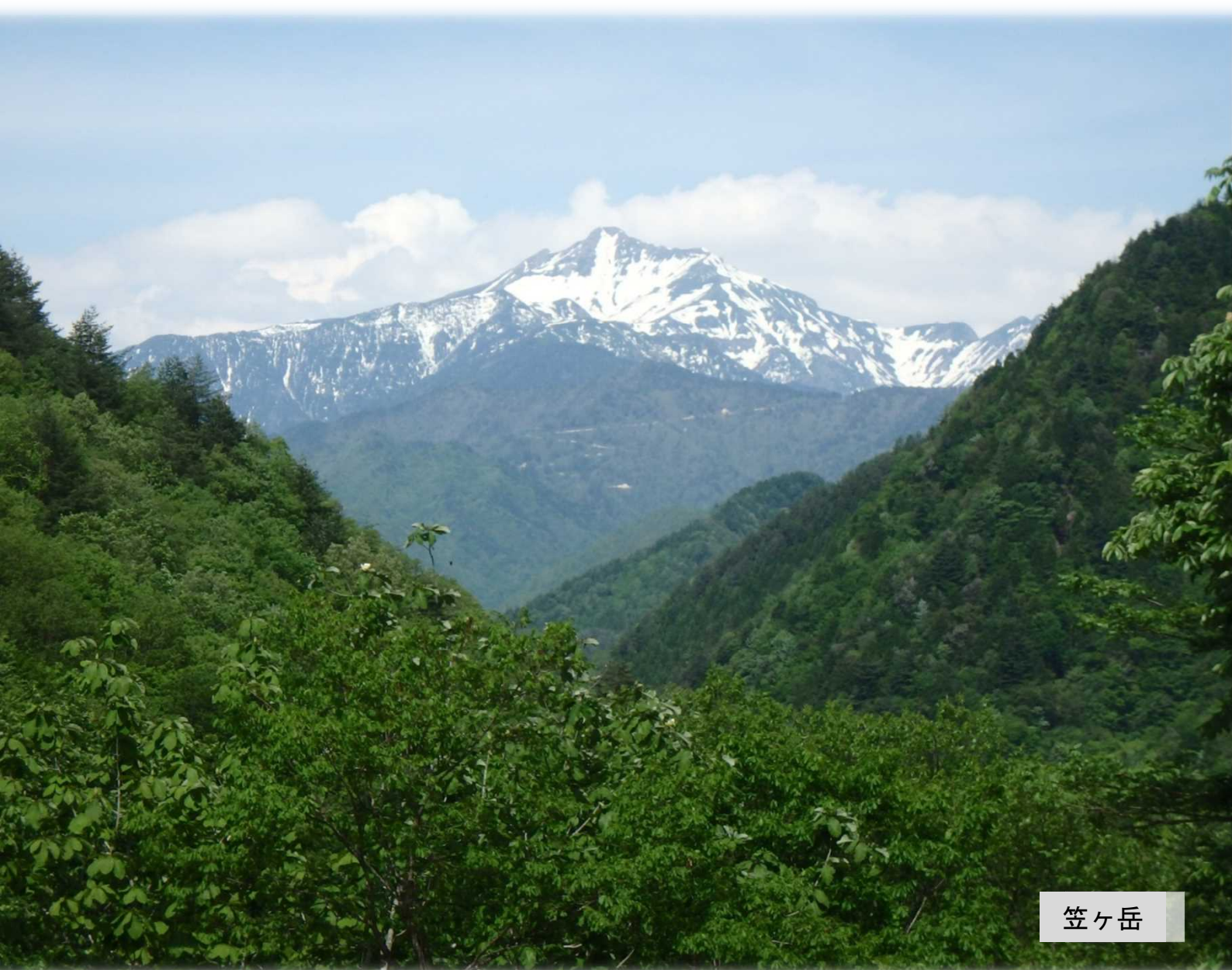


令和5年度
本郷森林事務所
部内概要





本郷の国有林



本郷森林事務所管内図



▲錫杖岳

国有林		担当区界	
河川		道路	

本郷森林事務所は岐阜県北東部に位置し、高山市上宝町全域及び奥飛騨温泉郷地内の一部の国有林のを管轄しています。

宮・庄川森林計画区に属しており、東部で栃尾森林事務所（高山市奥飛騨温泉郷）、南部で町方森林事務所（高山市丹生川町）そして、西部・北部で神岡森林事務所（飛騨市神岡町）部内と接しています。

〈地況〉

地形 北アルプスを水源とする高原川を中心に、北側には笠谷・下佐谷国有林等、南側には戸谷・立平国有林等があります。部内標高は海拔600～2,700mと高低差が大きく、急峻な箇所が多いのが特徴です。また、管内の双六川と高原川の合流付近には河岸段丘が広がっています。

地質 地質は花崗岩を主として、石英班岩・石英安山岩等が見られます。また、蔵柱川流域の国有林では安山岩・大雨見流紋岩などが見られます。

気候 部内は他の飛騨地方の一带と同様に内陸性の気候のため、年間降水量は2,000mm以下と少なく、一日の寒暖の差が大きくなっています。また、地形が複雑であるため、風は全般的に弱くなっています。

年平均気温は約11.4℃と低い地域で、年間降雪量は611cmと県下でも有数の豪雪地帯です（観測地点は神岡：気象庁2012年～2021年データによる）

神岡（年ごとの値）※上宝町内で観測がないため、参考として神岡のデータを記載

年	降水量(mm)	気温(℃)			雪(寒候年・cm)		
		平均			降雪	日降雪	最深
		日平均	日最高	日最低	合計	最大	積雪
2022	1796.0	11.8	17.7	7.5	653.0	41.0	122.0
過去30年平均	1937.5	11.4	17.4	6.8	611.0	43.0	99.0

〈林況〉

部内は国有林の標高差が2,600mにも及ぶため、多種多様な植生を観察することができます。

標高の低い地域ではブナ、ナラ、トチ等の広葉樹が大部分を占め、1,000～1,600mにおいては沢筋にトチノキ、サワグルミ、ブナ等の広葉樹、尾根筋にはコメツガ、ネズコ、ヒメコマツ等となり針葉樹の混交歩合も著しく増加します。

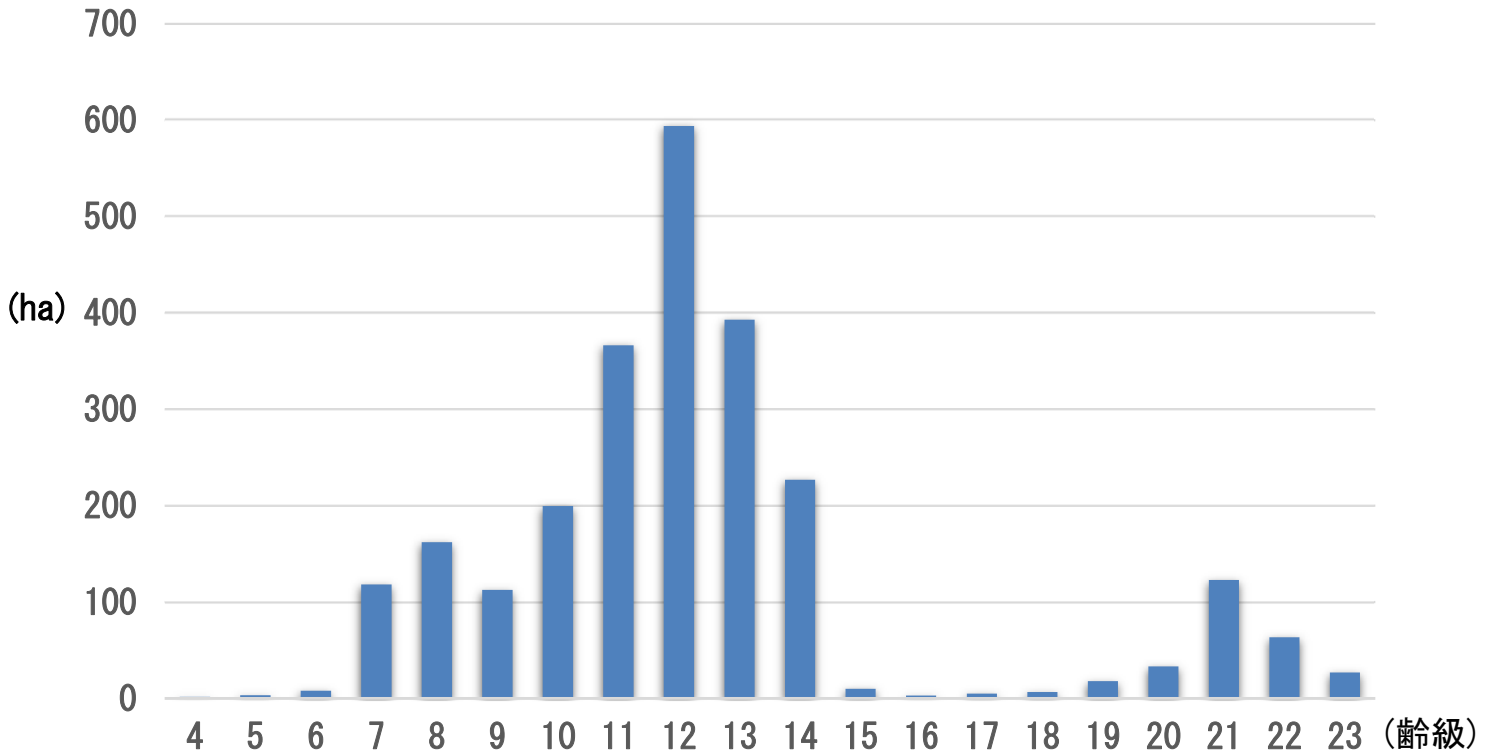
標高1,600m以上になるとアオモリトドマツ、シラベ、トウヒ等が見られ亜高山帯となり、広葉樹はカンバ類、ブナ類が一部見られる程度でほかは針葉樹林を形成しています。いずれも伸長成長が低下し2,000m以上では形質不良となっています。

2,400mに達すると高木がほとんどないハイマツ地帯となり、広葉樹は一部にはダケカンバやナナカマドなどが見受けられる程度となります。2,800m以上では樹木は生育できない高山帯となり、クロユリやコマクサなどのお花畑が見られる場所もあります。

人工林は、古くは明治39(1908)年から新しいものは平成13年(2001)年まで100年近くにわたリスギ、ヒノキ、カラマツ等が植栽され、国有林の36%にあたる2473.22 haを占め、齢級は60年生前後の人工林が多いため、将来的には主伐も実施することが見込まれます。

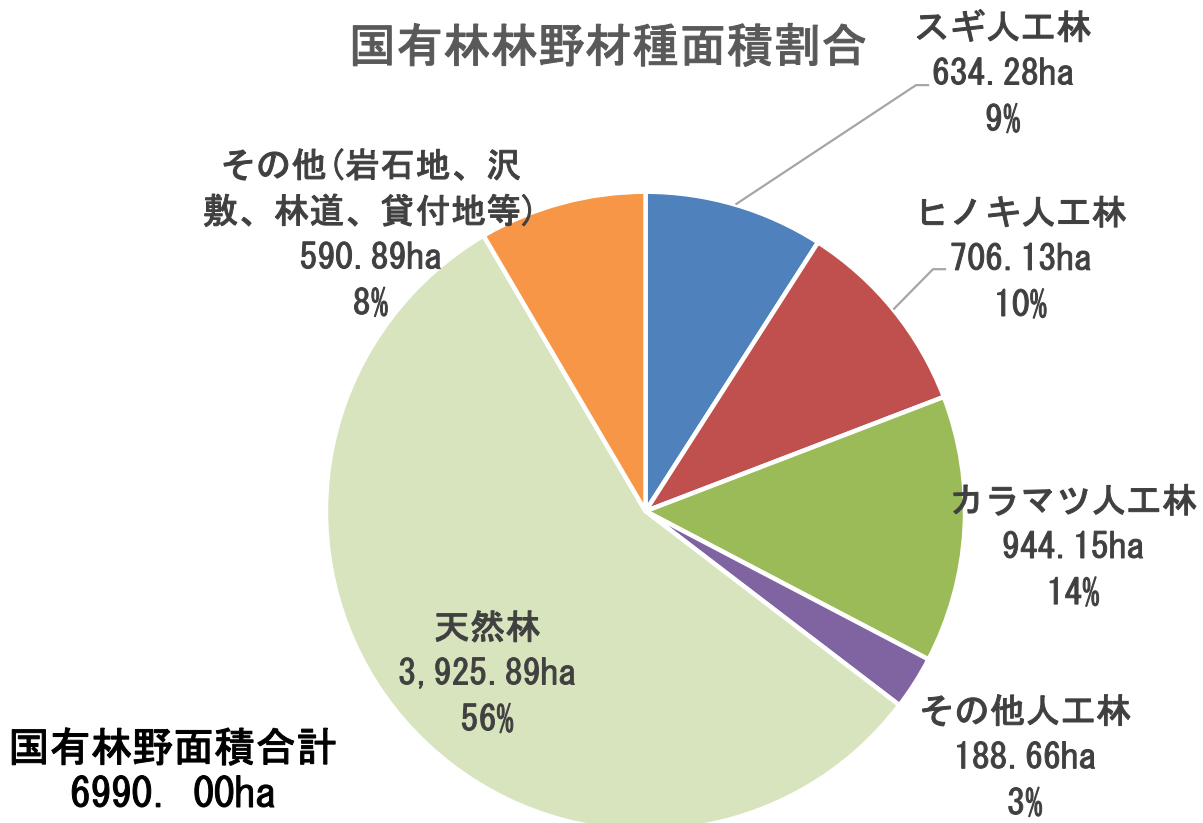
〈林況〉

人工林齢級別面積



※年齢級とは植栽してからの年数を5年ごとに区切りまとめたもの。1年齢級は1～5年生、2年齢級は6～10年生となります。

国有林林野材種面積割合



〈保安林〉

部内の国有林ほぼ全域が保安林に指定され、内訳は下表のとおりです。

保安林の種類	役割	面積 (ha)	割合
水源かん養保安林	部内の大半を占め、清流高原川をはじめとする地域の河川の洪水の防止や、地域の皆様の生活に欠かせない水資源の維持のために森林を管理しています。	6675.02	96.2%
土砂流出防備保安林	急傾斜地や砂防指定地などを中心に指定されており、樹木および地表植生その他の地被物の直接間接の作用によって、山が崩れて生命や財産、生活インフラなどに影響の出ることのないように管理しています。	265.21	3.8%
計		6940.23	

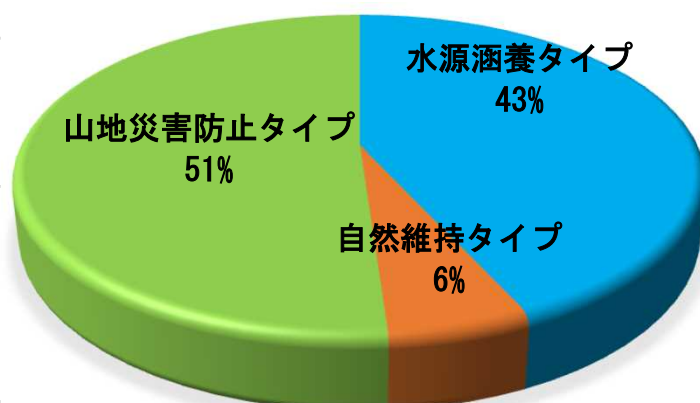
〈国有林の機能類型〉

林野庁は主な目的に応じて国有林を5種類の機能類型に分類しており、本郷森林事務所部内にはそのうち3種類の機能類型が存在しています。

保安林と国有林の機能類型の最大の違いは、保安林が国民の安心・安全な生活を守ることを念頭に置いているのに対して、機能類型は森林の持つ機能を最大限に発揮するためにどのように管理していけばよいのかを念頭に置いているという点です。

区分	管理経営の方針
災山地災害防止タイプ	山崩れなどの災害を防止する機能を重視する国有林です。
水源涵養タイプ	水資源を蓄え、良質な水を供給する機能を重視すると共に持続的計画的に木材を生産する国有林です。
自然維持タイプ	生態系の保全や野生生物の保護など自然環境を維持する機能を重視する国有林です。北アルプス森林生態系保護地域はこのタイプに該当します。

機能類型別面積割合



〈国有林の施業〉

本郷森林事務所部内では、宮・庄川森林計画区第6次国有林野施業実施計画（令和2年度～令和6年度）に基づき、計画的な施業を実施しています。当部内は寒冷な気候と多雪のため、主伐までのスパンが長い長伐期施業を実施している林小班も多いですが、60年生前後の人工林が多いため、将来的には主伐も実施することが見込まれます。木材生産は国有林の多面的な機能の中でも重要な一角であり、本郷森林事務所では今後も計画的な施業を実行してまいります。



▲搬出間伐（下佐谷国有林）

〈国有林別面積割合〉（単位：ha）

国有林名	林班数	林地面積			保安林面積	
		計	人工林	天然林	水源かん養	土砂流出
金木戸	4	360.50	85.95	274.55	367.06	
大木場	1	101.33	79.38	21.95	103.50	
戸谷	7	579.16	391.28	187.88	595.43	
立平	14	1162.11	868.59	293.52	1182.73	
明ヶ谷	2	181.03	160.70	20.33		182.32
大雨見	2	168.99	135.93	33.06	171.14	
出シ谷	1	22.33	22.33			22.61
東俣	1	45.22	45.22			45.28
下佐谷	22	2081.89	623.52	1458.37	2113.70	
下ウスノメ	2	82.59	39.21	43.38	69.87	15.00
笠谷	12	1502.15		1502.15	1953.58	
林ノ谷	1	50.86	16.12	34.74	56.02	
蓼之俣谷	1	60.95	4.99	55.96	61.99	
計（13）	70	6399.11	2473.22	3925.89	6675.02	265.21
面積割合		100.0%	38.6%	61.4%	96.2%	3.8%

〈令和5年度事業予定〉

測定事業 境界予備調査（大雨見国有林・稗田洞国有林）・境界巡視ほか
林道工事 既設路線維持修繕作業を実施予定
野生鳥獣対策 センサーカメラによる生息調査（明ヶ谷国有林）※岐阜県による調査協力含む等

注）事業については、令和5年3月段階の予定であり、変更もあります。

〈フォトギャラリー〉



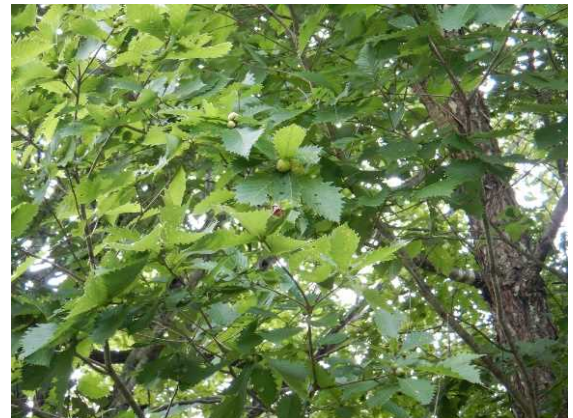
▲カラマツ人工林



▲スギ人工林



▲国有林境界確認



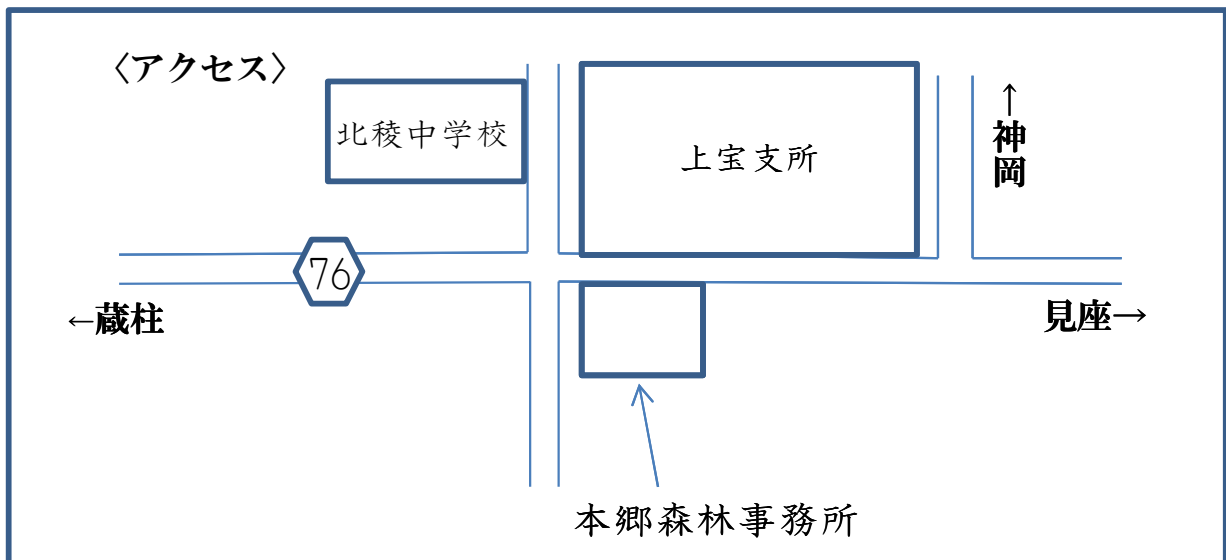
▲堅果類着果状況調査



▲路体改良工事



▲分収造林地



林野庁 中部森林管理局

飛騨森林管理署 本郷森林事務所

※神岡森林事務所事務取扱

〒506-1317 高山市上宝町本郷530-3
(TEL) 0578-86-3665

神岡森林事務所

〒506-1133 岐阜県飛騨市神岡町数河827-2
(TEL) 0578-82-0046